

内閣府平成29年度委託調査事業

学生の就職・採用活動開始時期等  
に関する調査

調査結果報告書（概要版）

平成29年11月30日  
株式会社浜銀総合研究所

## 調査の概要

### (1) 調査の目的

本調査は、平成 29 年度卒業・修了予定者の就職・採用選考活動の実態を把握することにより、来年度以降の就職・採用活動の円滑な実施に資することを目的として実施した。

(参考) 就職・採用活動開始時期の変更経緯 (大学 4 年生の場合)

	広報活動開始	採用選考活動開始
平成 26 年度卒業者	3 年生 1 2 月	4 年生 4 月
平成 27 年度卒業者	3 年生 3 月	4 年生 8 月
平成 28 年度卒業者	3 年生 3 月	4 年生 6 月
平成 29 年度卒業者	3 年生 3 月	4 年生 6 月

### (2) 調査の実施方法

対象：大学 4 年生、大学院 2 年生

(医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科、海外からの留学生を除く。)

方法：インターネット調査。60 程度の大学から所属対象学生に案内。

期間：平成 29 年 7 月 12 日～8 月 10 日 (8 月 1 日時点の状況を回答)

### (3) 有効回答件数

大学 4 年生 : 7,181 名

大学院 2 年生 : 2,692 名

合計 9,873 名

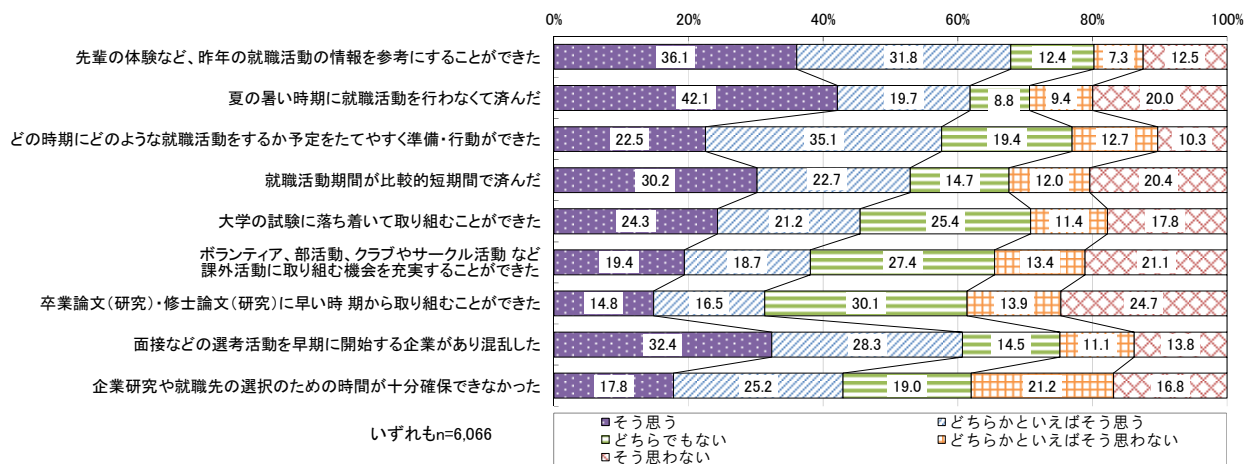
(注) この資料中、「平成 28 年度調査」とあるのは、内閣府平成 28 年度委託事業「就職・採用活動開始時期変更に係る学生の就職活動等調査」、「平成 27 年度調査」とあるのは、内閣府平成 27 年度委託調査事業「就職・採用活動開始時期の後ろ倒しに係る学生の就職活動等調査」を指す。なお、今年度調査・平成 28 年度調査は 8 月 1 日時点で実施しているが、平成 27 年度調査は 10 月 1 日時点で実施した。

## 就職活動時期に関する認識

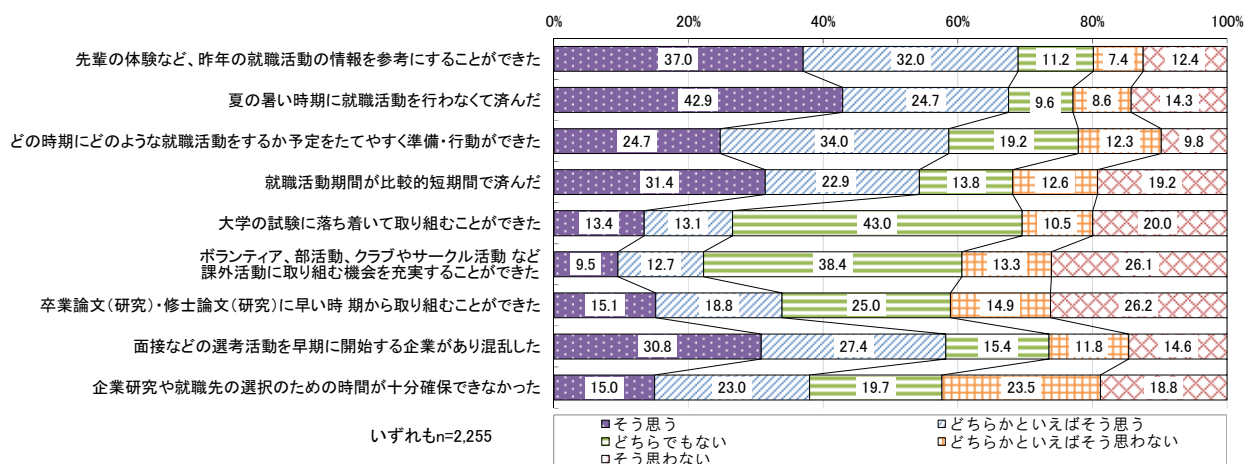
就職活動時期が昨年度と同様の時期に設定されたことについてどのように思うかたずねたところ、「先輩の体験など、昨年度の就職活動の情報を参考にすることができた」や「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」などの点で、「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答する割合が高かった一方で、「選考活動を早期に開始する企業があり混乱した」点についても同様の回答割合が高かった。

調査項目	大学4年生の回答		大学院2年生の回答	
	「そう思う」+ 「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」+「どちらか といえばそう思わない」	「そう思う」+ 「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」+「どちらか といえばそう思わない」
昨年の就職活動の情報を参考にすることができた	67.9%	19.7%	69.0%	19.8%
夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ	61.8%	29.4%	67.6%	22.9%
予定をたてやすく準備・行動ができた	57.6%	23.0%	58.7%	22.1%
就職活動期間が比較的短期間で済んだ	52.9%	32.4%	54.3%	31.8%
選考活動を早期に開始する企業があり混乱した	60.7%	24.9%	58.2%	26.4%

(大学4年生)



(大学院2年生)

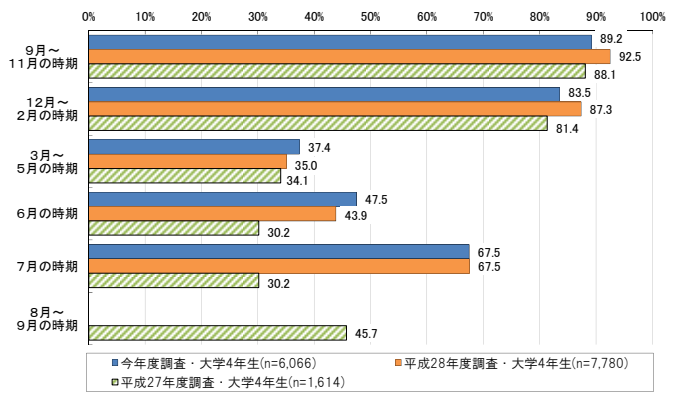
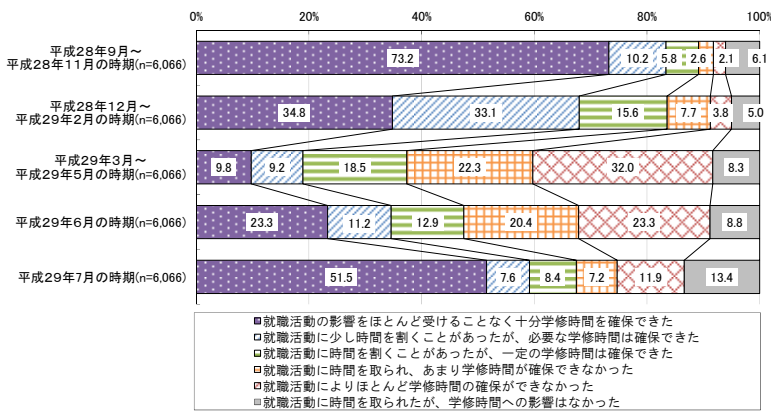


# 就職活動と学修時間確保の状況

「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合は、大学4年生と大学院2年生ともに広報活動開始時期前の2月までは8割以上と高くなっており、広報活動開始時期後の3月～5月には4割以下まで低下しているものの、採用・選考活動開始時期後の6月は大学4年生で約5割、大学院2年生で約6割、7月はそれぞれ約7割・約8割まで高くなってきている。

採用・選考活動開始時期が8月とされていた平成27年度と比較すると、今年度は平成28年度と同様に、6月・7月に学修時間が確保できたと回答した割合が2倍程度の時期もあるなど高くなってきている。また、平成28年度と比較すると、3月以降は今年度の方が高くなってきている。

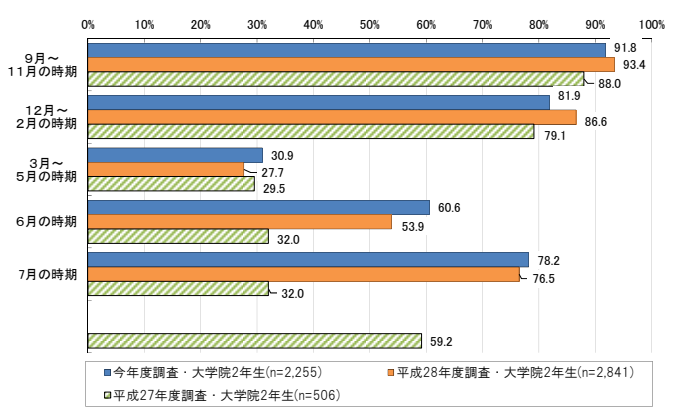
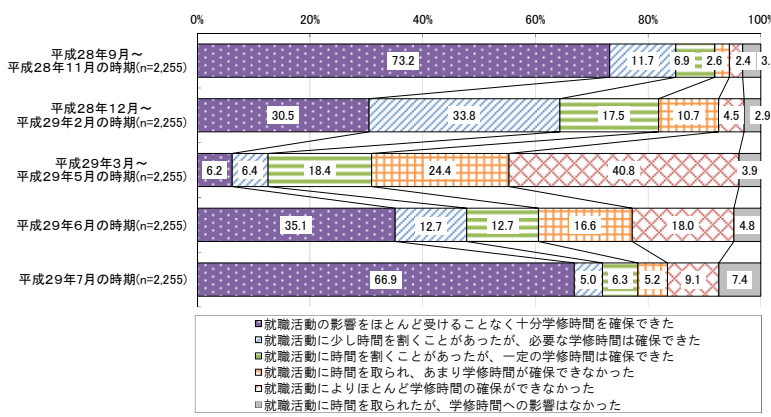
(大学4年生)



※「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

※「6月の時期」「7月の時期」は、平成27年度は「6月～7月の時期」として調査を実施(図表にはそれぞれ同じ値を掲載)

(大学院2年生)



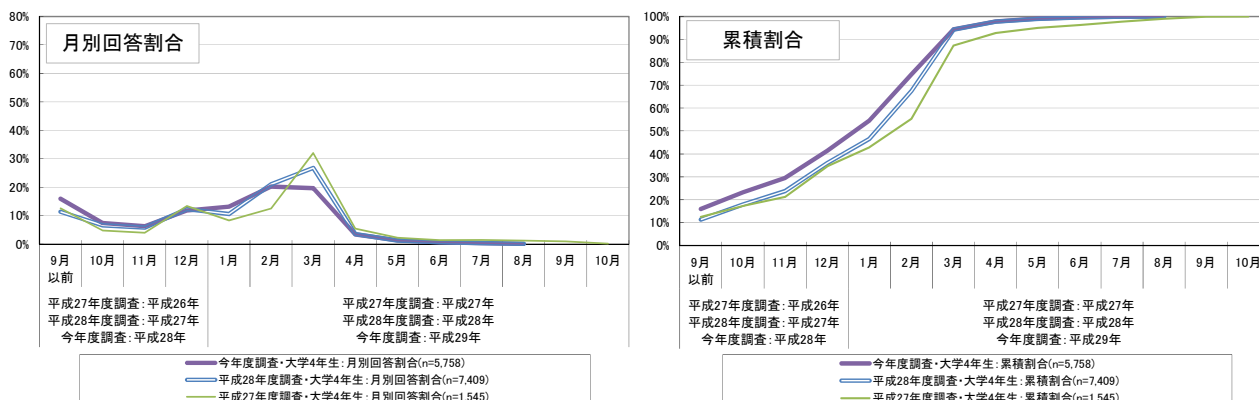
※「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

※「6月の時期」「7月の時期」は、平成27年度は「6月～7月の時期」として調査を実施(図表にはそれぞれ同じ値を掲載)

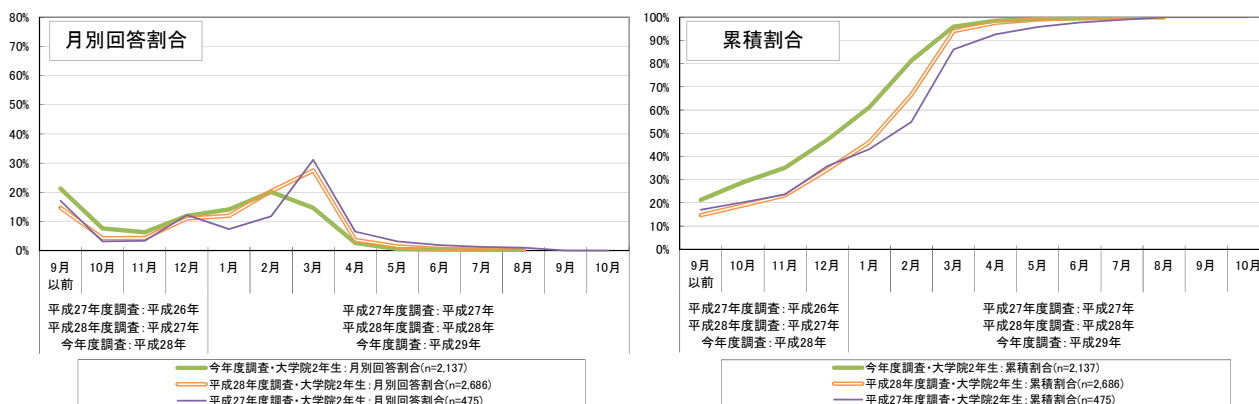
# 業界や企業に関する分析を開始した時期

業界や企業に関する分析を開始した時期について、平成28年度に比べ、広報活動開始時期前の2月以前の回答割合が増加し、全体的に時期が若干早まっている。

(大学4年生)



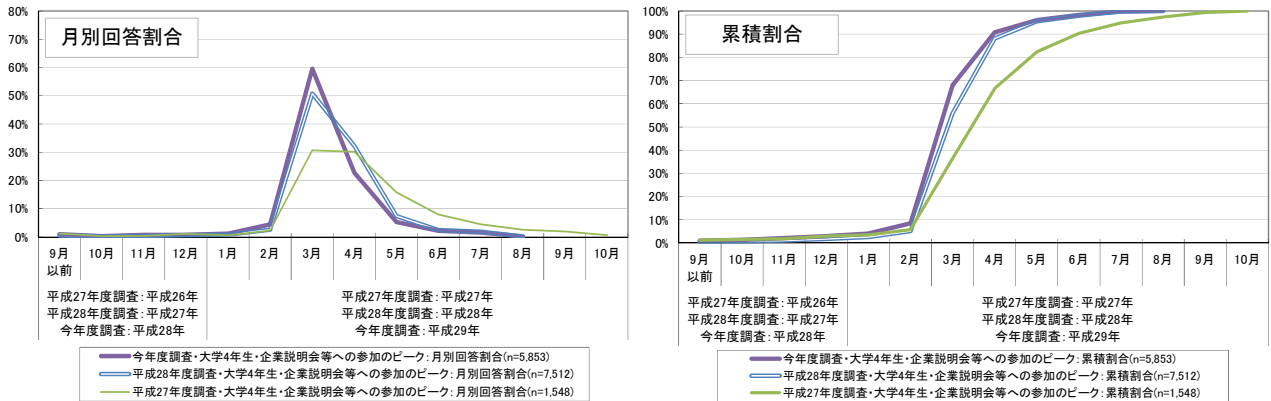
(大学院2年生)



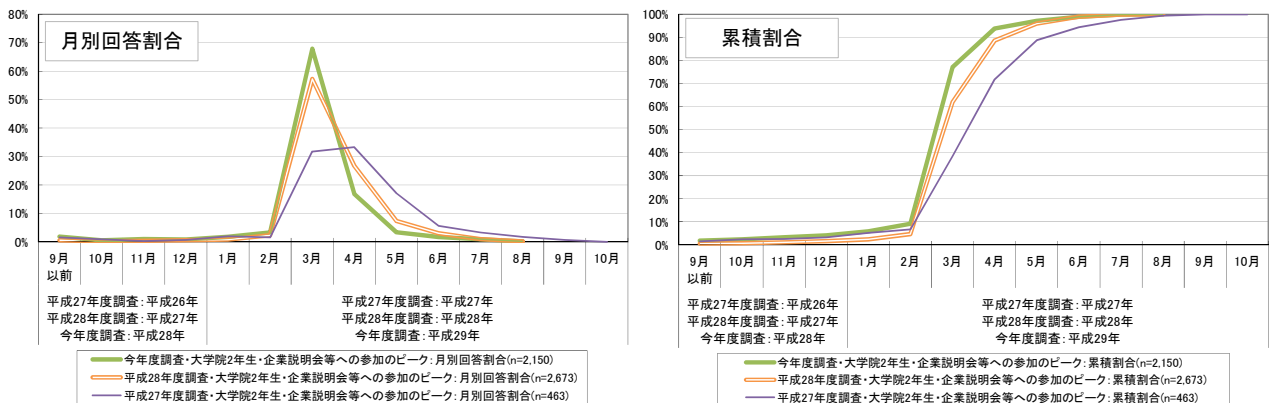
# 企業説明会やセミナー等への参加時期

企業説明会やセミナー等への参加のピークの時期について、平成28年度に比べ、広報活動開始時期である3月と回答する学生の割合が増加し、全体的に時期が若干早まっている。

(大学4年生)



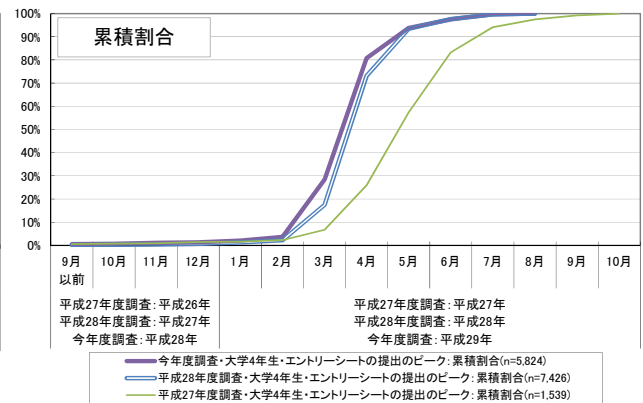
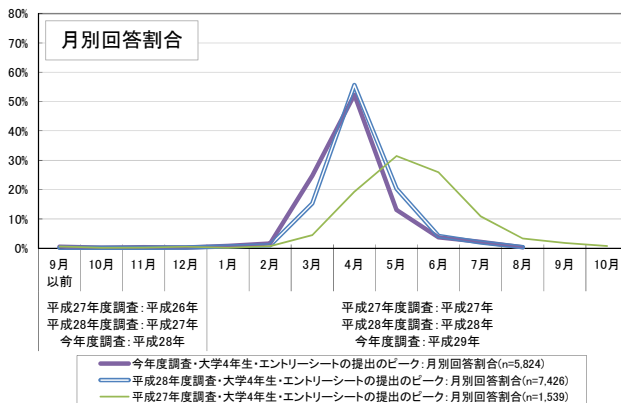
(大学院2年生)



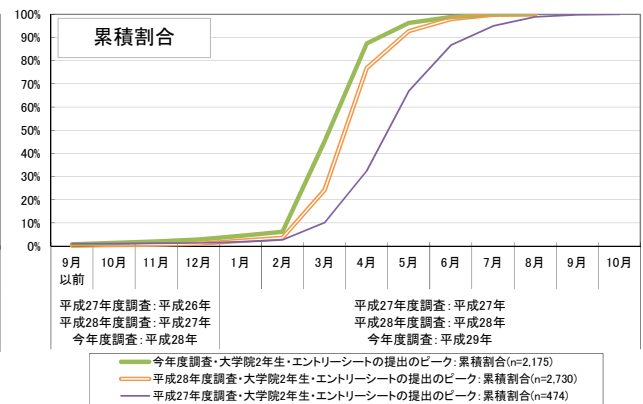
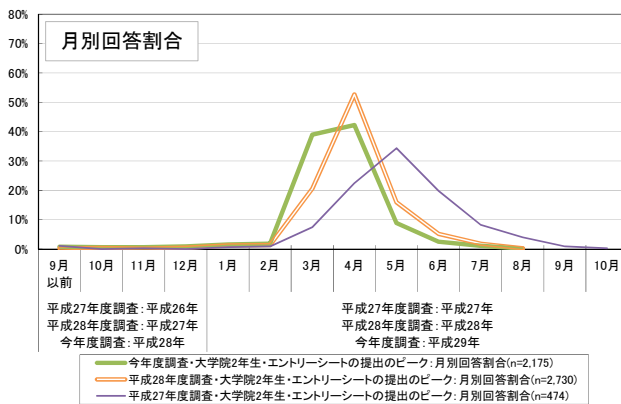
# エントリーシート提出の時期

エントリーシート提出のピークの時期について、4月と回答する学生の割合が最も高い点は平成28年度と同様であるが、今年度は5月と回答する学生の割合が減少し、広報活動開始時期後の3月との回答割合が増加しており、全体的に時期が若干早まっている。

(大学4年生)



(大学院2年生)



## 採用面接の実施時期

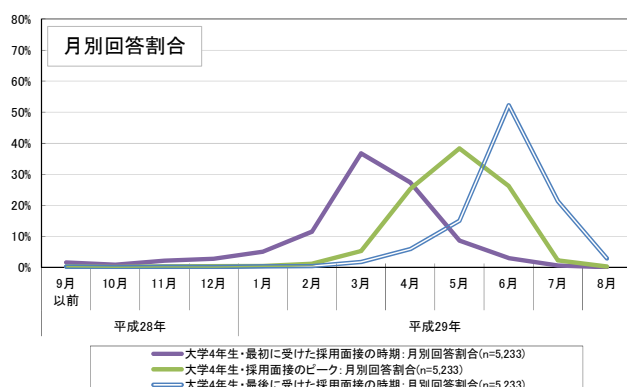
最初に採用面接を受けた時期は、大学4年生と大学院2年生ともに、広報活動開始時期である3月との回答割合が約4割で最も高く、次いで4月が約3割と高い。

採用面接のピークは、最も回答割合が高い月が採用・選考活動開始時期である6月の前にきており、大学4年生では5月との回答割合が約4割で最も高く、次いで6月と4月が約3割と高く、また、大学院2年生では4月が約4割で最も高く、次いで5月が約3割と高い。

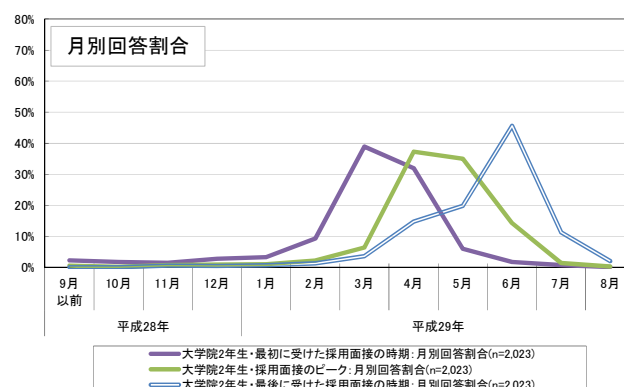
最後に面接を受けた時期は、大学4年生と大学院2年生ともに、採用・選考活動開始時期である6月に約5割と最も高くなっている。

なお、全体的に、平成28年度と同様の傾向にあるが、時期が若干早まっている。

(大学4年生)



(大学院2年生)



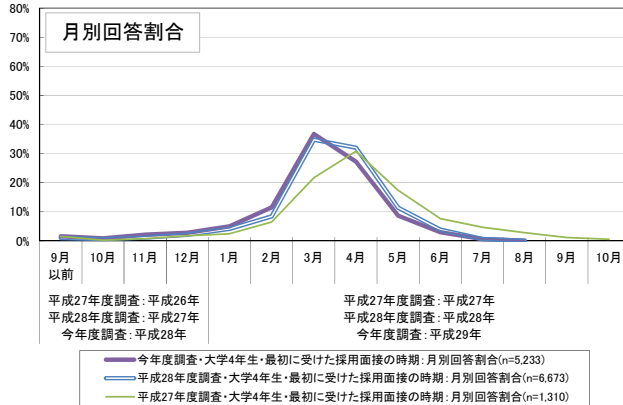
(注1) 公務員・教職員志望を除いて集計している。

(注2) 「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に「採用面接」だと感じた場合は、当該接触を「採用面接」と考えて回答いただくよう案内した上で調査を行った。

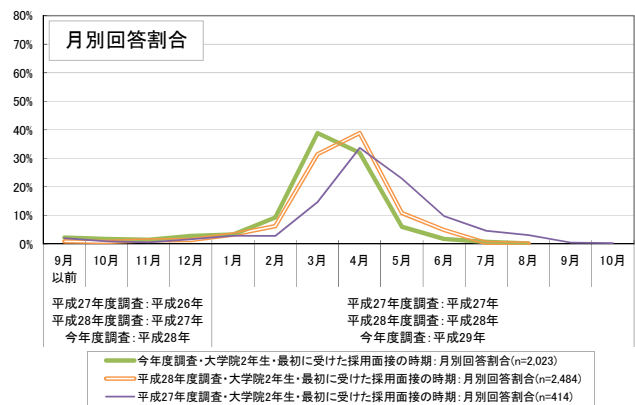


# 【各項目における今年度調査と過年度調査との比較（採用面接時期関係）】

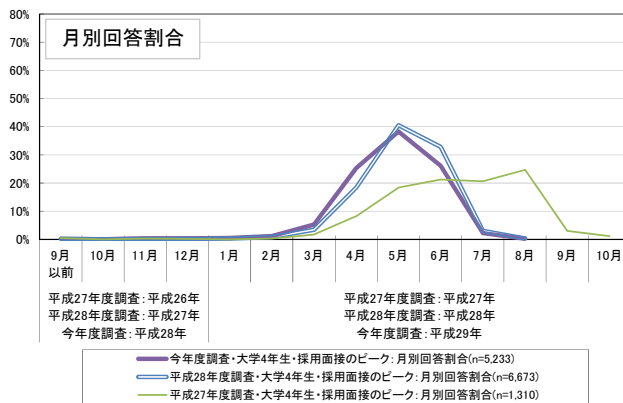
## ＜大学4年生・最初に受けた時期＞



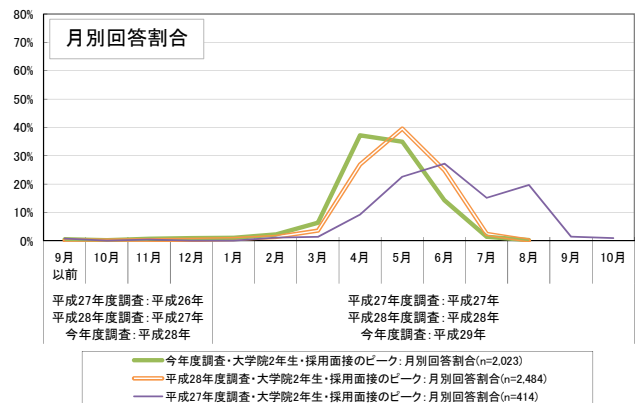
## ＜大学院2年生・最初に受けた時期＞



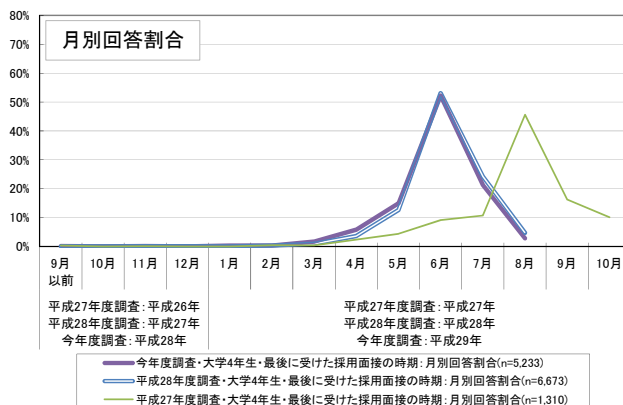
## ＜大学4年生・採用面接のピーク＞



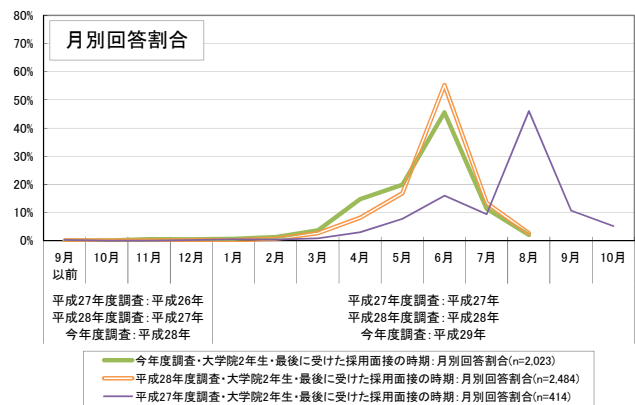
## ＜大学院2年生・採用面接のピーク＞



## ＜大学4年生・最後に受けた時期＞



## ＜大学院2年生・最後に受けた時期＞

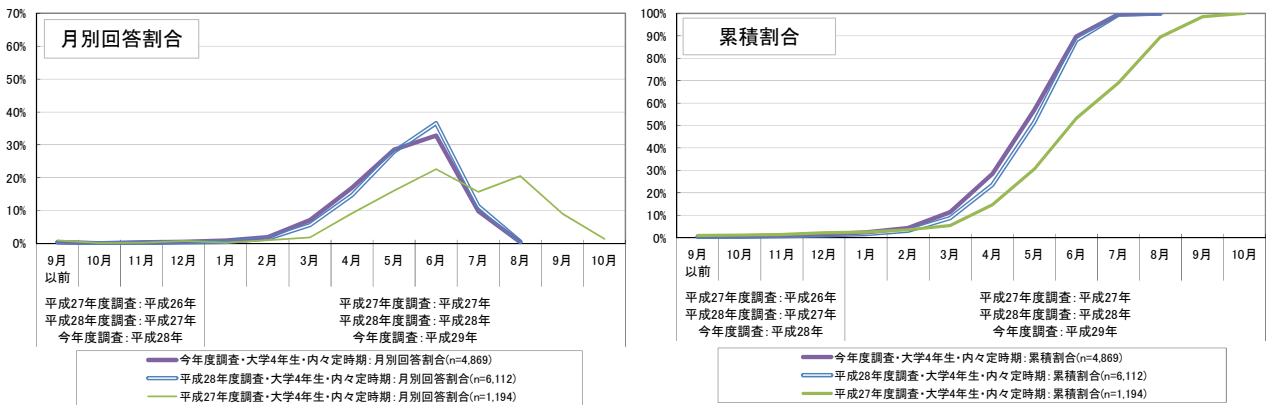


## 内々定を受けた時期

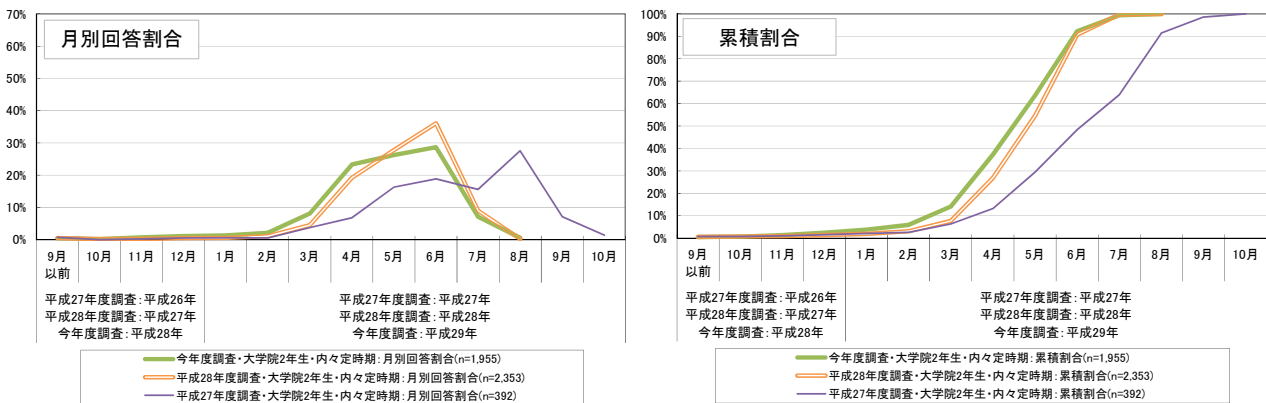
内々定を受けた時期は、大学4年生と大学院2年生ともに、採用・選考活動開始時期である6月との回答割合が約3割で最も高い。

平成28年度調査でも回答割合が最も高い月は6月であるが、今年度調査では時期が若干早まっている。

(大学4年生)



(大学院2年生)



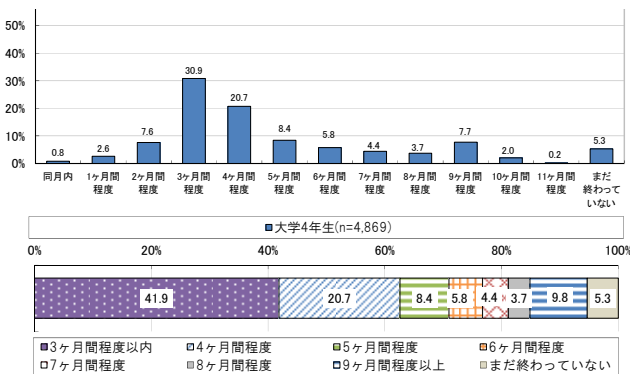
(注1) 公務員・教職員志望を除いて集計している。

(注2) 1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。

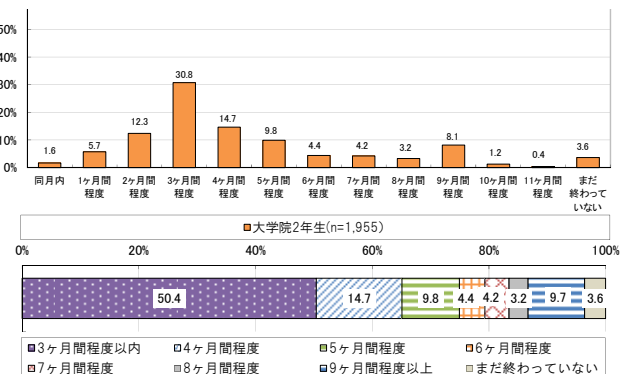
# 就職活動の始まりから終わりまでの期間

就職活動の始まりから終わりまでの期間について、採用・選考活動開始時期が8月とされていた平成27年度は、5ヶ月間程度以上に該当する学生が7割を超えていたが、今年度は平成28年度と同様、6割以上の学生が4ヶ月程度以下に該当し、より短い期間で就職活動を終えている傾向が見られる。

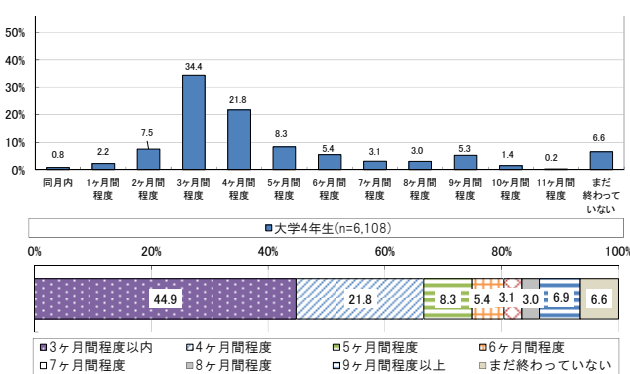
(今年度調査・大学4年生)



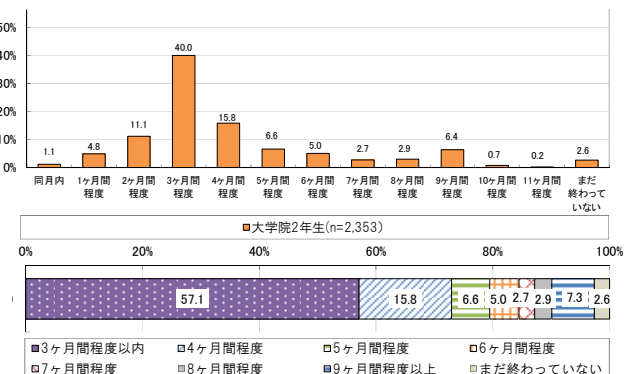
(今年度調査・大学院2年生)



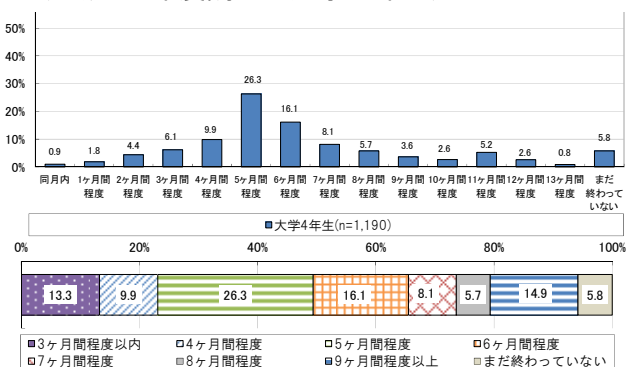
(平成28年度調査・大学4年生)



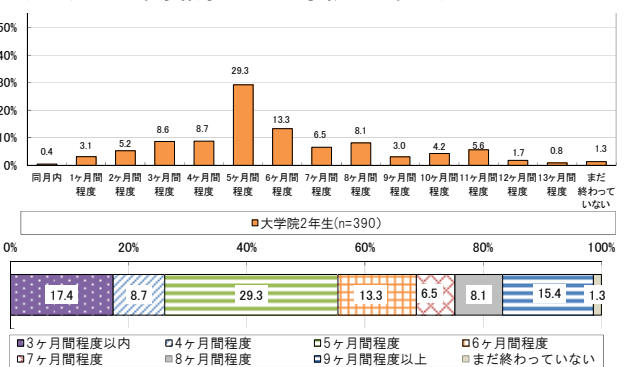
(平成28年度調査・大学院2年生)



(平成27年度調査・大学4年生)



(平成27年度調査・大学院2年生)



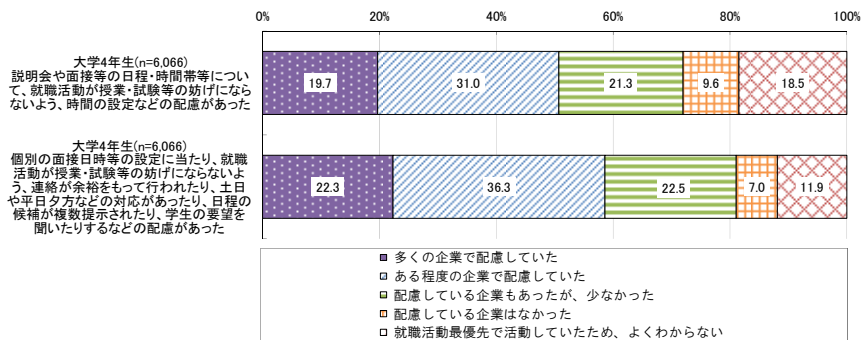
(注)「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」の間の期間を集計しており、例えば始まったと考える時期を「3月」、終わったと考える時期を「6月」と回答した場合は、「3ヵ月間程度」として集計している。

# 企業による学生の学業等への配慮

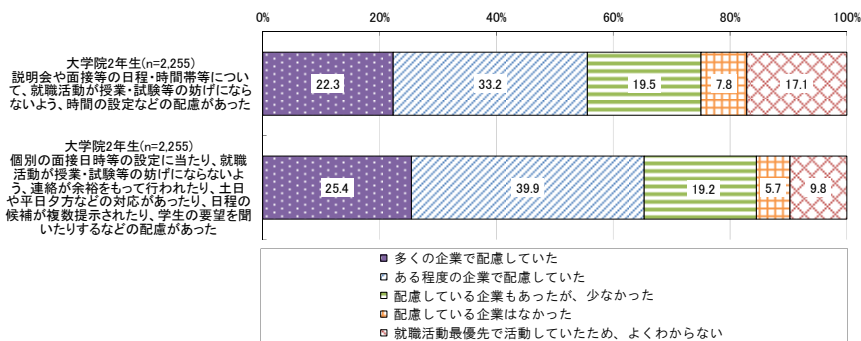
学生の学業等への配慮について、「よくわからない」と回答した学生を除くと、6割以上の学生が、多くの企業又はある程度の企業で、説明会や面接等の日程に関して配慮がされていたと回答しており、平成28年度に比べ、この回答割合は若干増加している。

## 就職活動を行った企業における時間や日程等に関する配慮の状況

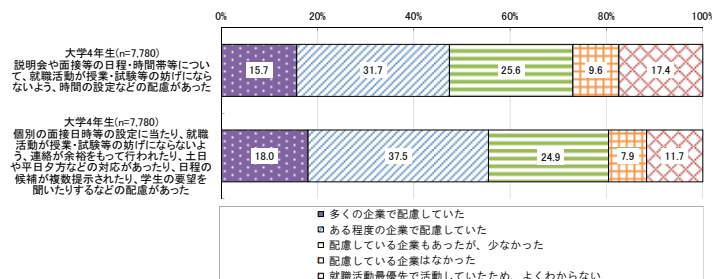
(今年度調査・大学4年生)



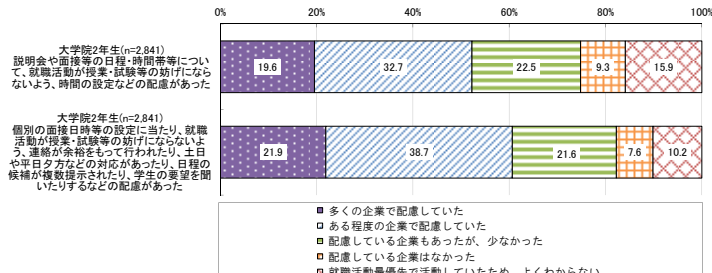
(今年度調査・大学院2年生)



(平成28年度調査・大学4年生)



(平成28年度調査・大学院2年生)

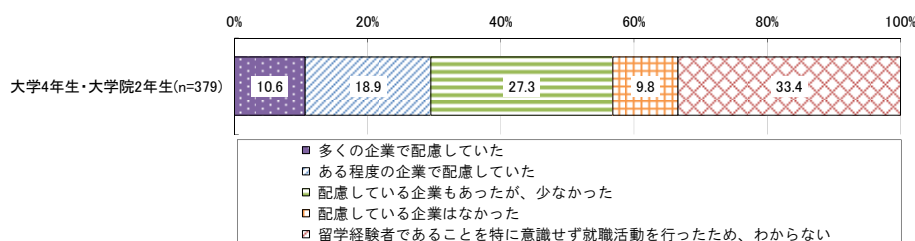


## 企業による留学経験者への配慮

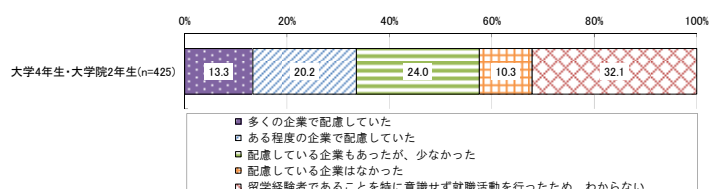
実際に就職・採用活動時期に留学を行った学生のうち、「わからない」と回答した者を除き、約4割が多くのある程度の企業で、留学により不利にならないよう留学経験者向けのスケジュールや情報を別途示すなど配慮されていたと回答しており、平成28年度に比べ、この回答割合は若干減少している。

### 企業側から留学経験者に対する配慮の状況

(今年度調査)



(平成28年度調査)

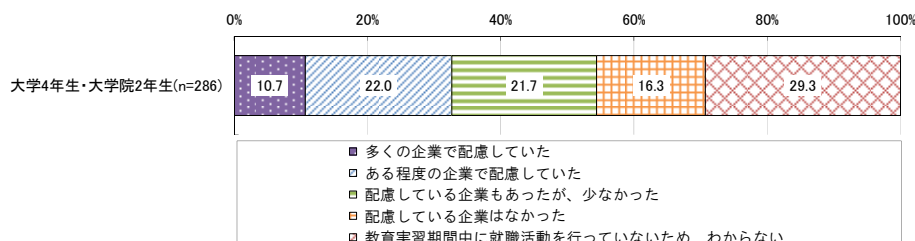


## 企業による教育実習受講者への配慮

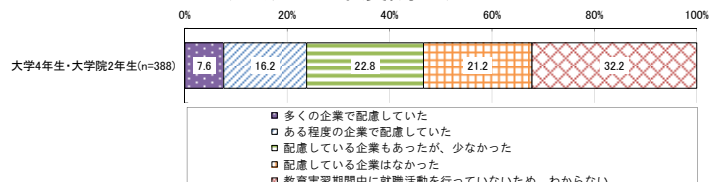
実際に就職・採用活動時期に教育実習を受けた学生のうち、「わからない」と回答した者を除き、約半数が多くのある程度の企業で、教育実習の妨げにならないよう説明会や面接等の日程や時間等に配慮されていたと回答しており、平成28年度に比べ、この回答割合が増加している。

### 企業側から教育実習受講者に対する配慮の状況

(今年度調査)

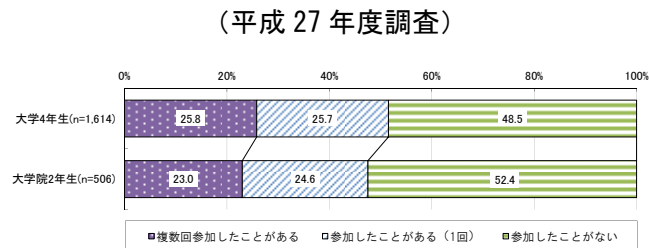
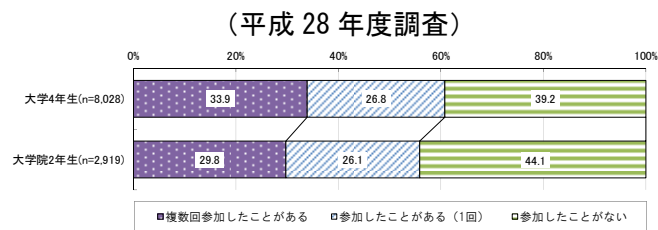
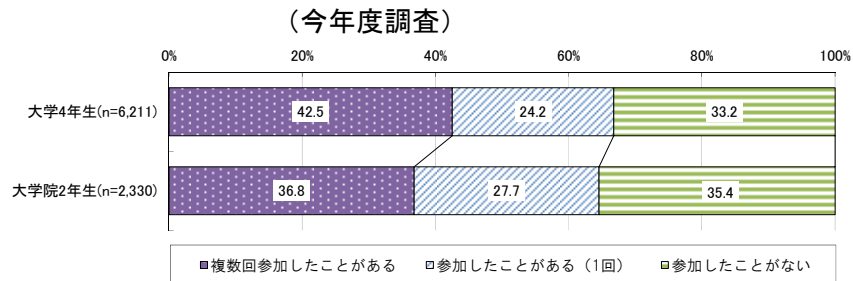


(平成28年度調査)



## インターンシップ参加経験の有無

大学4年生・大学院2年生ともに、6割以上がインターンシップに参加したことがあると回答しており、平成27年度・平成28年度に比べ、この回答割合は増加している。

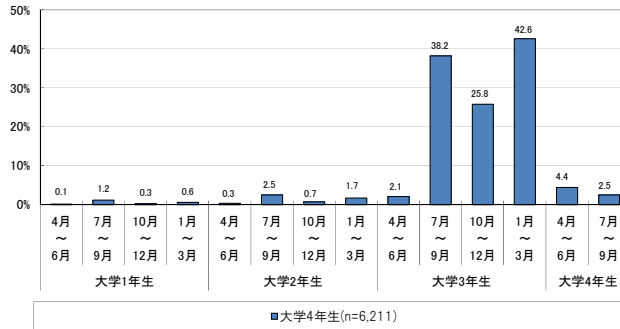


# インターンシップ参加時期

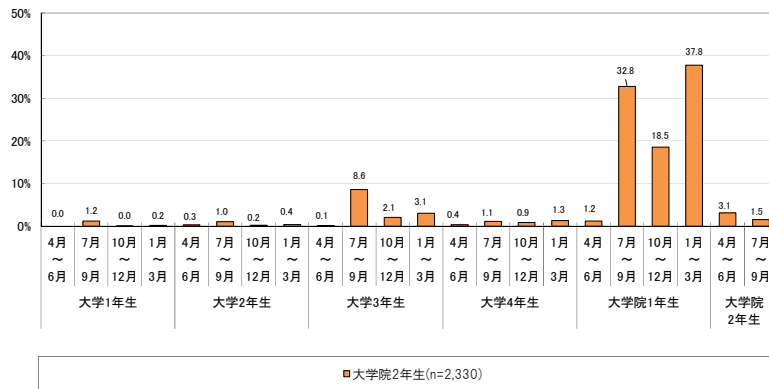
インターンシップ参加の時期は、大学3年生・大学院1年生の「1月～3月」の参加割合が最も高く、次いで大学3年生・大学院1年生の「7月～9月」の割合が高くなっている。

※ 3月が広報活動開始時期

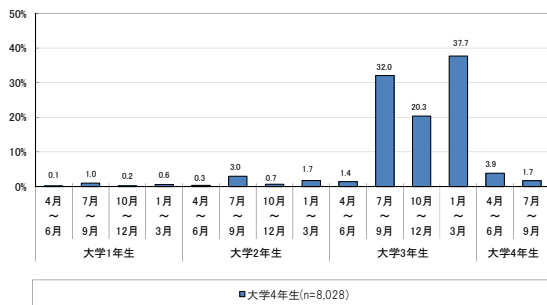
(今年度調査・大学4年生)



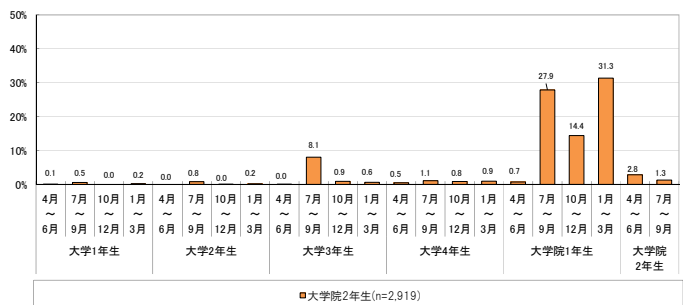
(今年度調査・大学院2年生)



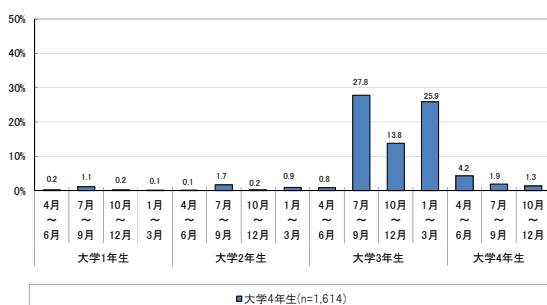
(平成28年度調査・大学4年生)



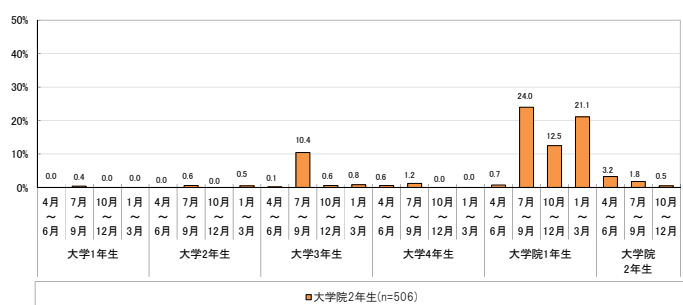
(平成28年度調査・大学院2年生)



(平成27年度調査・大学4年生)



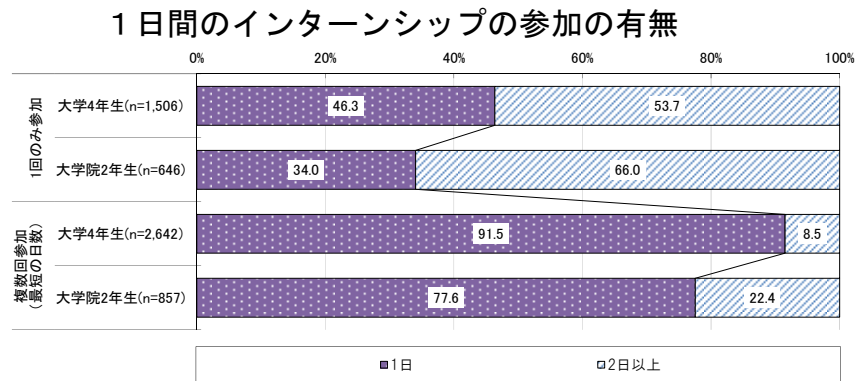
(平成27年度調査・大学院2年生)



# 1日間のインターンシップの参加状況

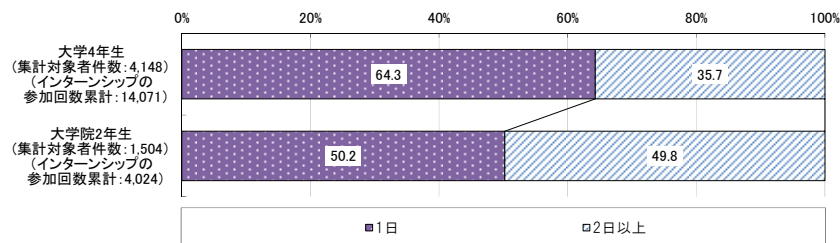
インターンシップに1回のみ参加したことがある場合で参加日数が「1日」であった割合は、大学4年生では約5割、大学院2年生では約3割であった。

インターンシップに複数回参加したことがある場合で「1日」のインターンシップに参加したことがある割合は、大学4年生では9割以上、大学院2年生では約8割であった。



なお、インターンシップへのすべての参加回数のうち、1日間のインターンシップへの参加回数が占める割合を集計すると、大学4年生では約6割、大学院2年生では約5割が1日間のインターンシップであった。

参加したインターンシップが1日間のインターンシップであった割合  
(インターンシップへの参加回数累計による集計)



また、参加した1日間のインターンシップのなかで、就業体験等を伴っていなかったものの割合を集計すると、大学4年生では約4割、大学院2年生では約5割が就業体験を伴わないものであった。

1日間のインターンシップの就業体験等との関係性  
(1日間のインターンシップへの参加回数累計による集計)

